

「室蘭市公共建築物適正化計画（素案）」への パブリックコメントの実施結果について

1. 実施概要

(1) 募集期間

平成29年1月5日（木）～平成29年2月3日（金）

(2) 公表場所

- ①市ホームページへの掲載
- ②市内公共施設への設置（8箇所）
 - ・室蘭市役所本庁舎（1階証明交付コーナー）
 - ・むろらん広域センタービル（1階戸籍住民課）
 - ・蘭東支所（「えきがるセンター」東室蘭駅自由通路東口）
 - ・市民会館 ・母恋会館 ・中島会館 ・本輪西会館 ・白鳥台会館

(3) 提出方法

公表場所に設置している意見箱への投函及び行政マネジメント課への持参・郵送・ファクス・電子メールによる提出のほか、市ホームページからの電子申請

2. 提出意見数

18件（9人）

3. 意見等の概要と室蘭市の考え方

「分類」欄の番号の説明

- ①：今回の計画及び取り組みの方向性として、意見等の趣旨を反映させていただいたもの
- ②：意見等の趣旨が計画及び取り組みの方向性として、既に予定されていたもの
- ③：今後、施策事業を検討・実施する際に参考にさせていただくもの
- ④：意見等の趣旨を計画及び取り組みに反映できなかったもの、またはその他の意見等

提出者	No.	意見等の概要	分類	室蘭市の考え
A	1	旧絵鞆小について、2棟ともの存続を検討していただきたい 縄文文化の展示を充実させた博物館を絵鞆小に作っていただければ、観光振興につながり、遺跡のPRにもなるため、活用法として最適ではないでしょうか。	④	「旧絵鞆小学校」の円形校舎につきましては、2棟のうち、1棟は耐震性を満たしていることから、現在、教育研究所や適応指導教室などが入居する分庁舎として活用しており、今後は、学校歴史資料室や遺跡出土品資料室としての活用を予定しております。 また、もう1棟につきましては、耐震性を満たしておらず、診断の結果では耐震補強が困難となっていることから、現在は立入禁止としています。 屋上や外壁等の老朽化も進んでいるため、周辺地域への安全性を考慮し、解体を含めて今後検討してまいります。
B	2	旧絵鞆小学校校舎について、円形校舎が2棟存在しているのは珍しく希少価値がある。 近隣の観光名所と連携し、観光スポットとして活用すると良いと思う。 縄文時代から室蘭開港、製鉄、石炭積み出しそして昭和の生活再現等、民族資料館と協力し展示する。 又、この周辺には魚介類の販売及び、魚介類・室蘭やきとり・カレーラーメンの飲食出来る所がなく校舎、あるいはグラウンドに作成しては良いと思う。	④	「旧絵鞆小学校」の円形校舎につきましては、2棟のうち、1棟は耐震性を満たしていることから、現在、教育研究所や適応指導教室などが入居する分庁舎として活用しており、今後は、学校歴史資料室や遺跡出土品資料室としての活用を予定しております。 また、もう1棟につきましては、耐震性を満たしておらず、診断の結果では耐震補強が困難となっていることから、現在は立入禁止としています。 屋上や外壁等の老朽化も進んでいるため、周辺地域への安全性を考慮し、解体を含めて今後検討してまいります。
B	3	祝津地区に客船バースを作成し飲食店、オートキャンプ場、浜焼き等作成し、科学館・図書館もこの周辺に移設し、観光スポットに発展することに期待したい。	④	今年度、道の駅「みたら室蘭」など主要観光地のアンケート調査を実施し、観光拠点として必要な機能等について検討を進めております。皆様からのご意見などを参考としながら、平成29年度には検討委員会を設置し、今後の方針を定めてまいります。 また、科学館・図書館につきましては、平成28年3月に策定した「基本計画」に基づき、（仮称）環境科学館・図書館として、平成32年度の開館に向け現地建替えを進めてまいります。

提出者	No.	意見等の概要	分類	室蘭市の考え
C	4	<p>「旧絵鞆小学校」の二棟がつながった円形校舎は全国でも珍しいと聞きます。一棟の保存は計画に入っているようですが、耐震性を確保し、なんとか二棟の状態でも存続させることは難しいでしょうか。</p> <p>近くには「みたら」や「水族館」などの観光施設があり、そこと連携することによって室蘭の観光資源になることを期待しています。</p>	④	<p>「旧絵鞆小学校」の円形校舎につきましては、2棟のうち、1棟は耐震性を満たしていることから、現在、教育研究所や適応指導教室などが入居する分庁舎として活用しており、今後は、学校歴史資料室や遺跡出土品資料室としての活用を予定しております。</p> <p>また、もう1棟につきましては、耐震性を満たしておらず、診断の結果では耐震補強が困難となっていることから、現在は立入禁止としています。</p> <p>屋上や外壁等の老朽化も進んでいるため、周辺地域への安全性を考慮し、解体を含めて今後検討してまいります。</p>
D	5	<p>旧絵鞆小学校校舎について、撮りフェスでも撮影スポットとして設定され、多くの参加者が写真を撮っていたように、珍しい2棟の円形校舎が、工場夜景スポットやみたら室蘭の近くという、室蘭観光の重要拠点となるべき場所にあることは、これからみたら室蘭エリアの観光ビジョンを描くうえで看過できないものと思料します。修繕費用、ランニングコスト、保守管理など、課題は山積ですが、みたら室蘭エリアの観光プランと一体的に盛り込むことを検討されたいと思います。</p>	④	<p>「旧絵鞆小学校」の円形校舎につきましては、2棟のうち、1棟は耐震性を満たしていることから、現在、教育研究所や適応指導教室などが入居する分庁舎として活用しており、今後は、学校歴史資料室や遺跡出土品資料室としての活用を予定しております。</p> <p>また、もう1棟につきましては、耐震性を満たしておらず、診断の結果では耐震補強が困難となっていることから、現在は立入禁止としています。</p> <p>屋上や外壁等の老朽化も進んでいるため、周辺地域への安全性を考慮し、解体を含めて今後検討してまいります。</p>
E	6	<p>2棟現存する円形校舎としては、おそらく国内唯一と思われる旧絵鞆小学校校舎の体育館棟について、保存・活用を希望します。</p> <p>現状の外観を維持しながら耐震補強を施す方法が見つからないとは聞いておりますが、引き続き検討いただくか、使い方を工夫して耐震化せずに活用する方法を探すなど、廃止ありきではなく活用できる方法を模索して欲しいです。</p> <p>例えば、室蘭市の歴史学習・資料収蔵施設としては例えば、室蘭市の歴史学習・資料収蔵施設としては陣屋町の民俗資料館がありますが、収蔵品があふれ、狭隘化が進み、十分に展示を出来ていないと感じます。縄文遺跡も数多くある絵鞆地区に、分館のような形で、旧絵鞆小学校を活用して民俗資料館の資料を一部移転し展示する・等の考え方があってもいいのではないのでしょうか。</p>	④	<p>「旧絵鞆小学校」の円形校舎につきましては、2棟のうち、1棟は耐震性を満たしていることから、現在、教育研究所や適応指導教室などが入居する分庁舎として活用しており、今後は、学校歴史資料室や遺跡出土品資料室としての活用を予定しております。</p> <p>また、もう1棟につきましては、耐震性を満たしておらず、診断の結果では耐震補強が困難となっていることから、現在は立入禁止としています。</p> <p>屋上や外壁等の老朽化も進んでいるため、周辺地域への安全性を考慮し、解体を含めて今後検討してまいります。</p>

提出者	No.	意見等の概要	分類	室蘭市の考え
E	7	<p>市役所本庁舎の整備を前倒しすることを希望します。市民が利用する施設を先に、との考え方はわかりますが、市役所が災害時にも機能し続けることこそが市民の最大限の利益です。まずは市役所本庁舎の耐震化を最優先で実施して頂きたい。</p> <p>東京都豊島区役所は集合住宅等を含む複合施設としたことで、実質0円で庁舎を建て替えたとの記事がありました。室蘭市で全く同じことができるかはわかりませんが、こういった手法を検討することで、蘭西地区の人口定住化を図ることも可能ではないでしょうか。</p>	④	<p>市役所本庁舎につきましては、都市計画マスタープランの改定等を踏まえ、平成33年度以降における事業着手を検討してまいります。</p>
F	8	<p>旧絵鞆小学校に関して、補修だけでもかなりの額がかかるとのお話でしたが、何卒保存活用の方向で検討して頂きたいです。3000筆を超える2棟とも保存を求める民意をしっかりと受け止めては頂いていると思うが、公共機関として活用する、半官半民で利用する、民間に払い下げするなどもっと様々な可能性を検討する時間をとる必要があると思います。</p> <p>市民を巻き込んだ保存に向けての検討委員会を置くべきだと思います。壊してしまってからでは遅いです。</p>	④	<p>「旧絵鞆小学校」の円形校舎につきましては、2棟のうち、1棟は耐震性を満たしていることから、現在、教育研究所や適応指導教室などが入居する分庁舎として活用しており、今後は、学校歴史資料室や遺跡出土品資料室としての活用を予定しております。</p> <p>また、もう1棟につきましては、耐震性を満たしておらず、診断の結果では耐震補強が困難となっていることから、現在は立入禁止としています。</p> <p>屋上や外壁等の老朽化も進んでいるため、周辺地域への安全性を考慮し、解体を含めて今後検討してまいります。</p>
G	9	<p>絵鞆小学校は観光活用すべきだと思います。陣屋の博物館を絵鞆小学校に移し、みたらと総合的に集客要素として活用する検討も必要だと思います。</p>	④	<p>「旧絵鞆小学校」の円形校舎につきましては、2棟のうち、1棟は耐震性を満たしていることから、現在、教育研究所や適応指導教室などが入居する分庁舎として活用しており、今後は、学校歴史資料室や遺跡出土品資料室としての活用を予定しております。</p> <p>また、もう1棟につきましては、耐震性を満たしておらず、診断の結果では耐震補強が困難となっていることから、現在は立入禁止としています。</p> <p>屋上や外壁等の老朽化も進んでいるため、周辺地域への安全性を考慮し、解体を含めて今後検討してまいります。</p>
G	10	<p>絵鞆小学校のグラウンドは固定資産税のためと住宅に使うなどという小手先のことをすべきではなく、しっかり残し、学校を活用すべきです。</p>	④	<p>グラウンドにつきましては、平成27年度に実施した絵鞆貝塚の発掘調査により、遺跡が広がっていないことが確認されております。今後は宅地利用を中心とした売却等による民間活用を図ってまいります。</p>

提出者	No.	意見等の概要	分類	室蘭市の考え
G	11	環境科学館は、9万人と集客が見込めない場所につくるより、みたらあたりに作るべきです。	④	環境科学館につきましては、平成28年3月に策定した「基本計画」に基づき、(仮称)環境科学館・図書館として、平成32年度の開館に向け現地建替えを進めてまいります。
G	12	旧室蘭駅界隈の歴史的建造物のある街並みをきちっと残す条例を作るべきです。札幌、函館、小樽にはあります。	④	歴史的建造物の保護については、室蘭市文化財審議会における意見等を踏まえ、適正な手法について検討してまいります。
G	13	公共にしかできない、やるべきことをきっちり分けなければいけないと思います。水道、図書館、障害者施設などは特にそうです。	②	本計画では、小中学校や消防などについて「優先機能」として位置づけ、今後も市が施設を保有し、機能を維持してまいります。
H	14	現在、2つある絵鞆小学校の廃校を利用して、アスリートたちを受け入れる合宿施設として再利用する。 もうひとつは、昭和38年に発掘調査した貴重な資料を展示する室蘭アイヌ民俗館に作り替える。	④	「旧絵鞆小学校」の円形校舎につきましては、2棟のうち、1棟は耐震性を満たしていることから、現在、教育研究所や適応指導教室などが入居する分庁舎として活用しており、今後は、学校歴史資料室や遺跡出土品資料室としての活用を予定しております。 また、もう1棟につきましては、耐震性を満たしておらず、診断の結果では耐震補強が困難となっていることから、現在は立入禁止としています。 屋上や外壁等の老朽化も進んでいるため、周辺地域への安全性を考慮し、解体を含めて今後検討してまいります。
H	15	絵鞆小学校について、一部の校舎の耐震を整備して、児童や小学生らの「学び舎」として活用する。一方、体育館内には、ボールプールや砂場などを完備して総合的な保育所を策定する。	④	「旧絵鞆小学校」の円形校舎につきましては、2棟のうち、1棟は耐震性を満たしていることから、現在、教育研究所や適応指導教室などが入居する分庁舎として活用しており、今後は、学校歴史資料室や遺跡出土品資料室としての活用を予定しております。 また、もう1棟につきましては、耐震性を満たしておらず、診断の結果では耐震補強が困難となっていることから、現在は立入禁止としています。 屋上や外壁等の老朽化も進んでいるため、周辺地域への安全性を考慮し、解体を含めて今後検討してまいります。
H	16	室蘭の道の駅は「白鳥大橋記念館の枠」をこえて、新しい産業を起こすことを考えたい。 具体的には、室蘭は「蘭扇」という地場のホタテの養殖がある。これを全面的に売り出すことを考えたい。 観光客や市民が手軽に買える「新鮮魚介の屋台村」などに取り組んで欲しい。	③	今年度、道の駅「みたら室蘭」など主要観光地のアンケート調査を実施し、観光拠点として必要な機能等について検討を進めております。皆様からのご意見などを参考としながら、平成29年度には検討委員会を設置し、今後の方針を定めてまいります。

提出者	No.	意見等の概要	分類	室蘭市の考え
H	17	南部陣屋について、室蘭～宮古とのフェリー航路の開設にあわせて、盛岡藩南部家家臣たちが蝦夷地防衛で尊い命を落としたことを広く、両市に理解してもらうことが必要と考え、せめて陣屋の門構えでも復元して欲しい。	④	南部陣屋の門構えについては、復元に必要となる根拠資料が現存していないことから、復元は困難となっております。
I	18	絵鞆小学校は、全国的にも珍しい、複数の円形校舎で構成された建築物であり、円形建築の第一人者である坂本鹿名夫氏が設計を担当した、希少な歴史的建造物だといえます。また、署名活動で多くの人々が署名をしてくださったように、思い出深い、人々に愛される建築物でもあります。改修工事の費用は、やりようによって新築工事の費用よりも安く抑えることもできます。資源の有効活用資源の有効活用の観点から見ても、歴的建造物の活用は有益なことだと思います。	④	「旧絵鞆小学校」の円形校舎につきましては、2棟のうち、1棟は耐震性を満たしていることから、現在、教育研究所や適応指導教室などが入居する分庁舎として活用しており、今後は、学校歴史資料室や遺跡出土品資料室としての活用を予定しております。 また、もう1棟につきましては、耐震性を満たしておらず、診断の結果では耐震補強が困難となっていることから、現在は立入禁止としています。 屋上や外壁等の老朽化も進んでいるため、周辺地域への安全性を考慮し、解体を含めて今後検討してまいります。